

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード：

英文科目名称： Japanese Constitutional Law

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1～2年	2単位 (2-0)	大学共通科目 (Global Studies)
担当教員			
David Ulvog			
授業形態：講義 遠隔授業の可能性あり	ナンバリング：GLS244		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理の知識を得てそれを理解した上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することができる。そうした技能をもって、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになる態度をもつことが目標である。</p>		
授業の概要	<p>まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に学びます。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。</p>		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ</p> <p>【事前学習】 最初講義の準備のため、日本国憲法を読んでください。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第2回 日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？）</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第3回 基本的人権（基本的人権の総論）</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第4回 人権享有主体・幸福追求権</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第5回 法の下の平等</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第6回 精神的自由～内心の自由</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p> <p>第7回 中間試験</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>		

	<p>第 8 回 表現の自由</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 9 回 表現の自由の制限</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 0 回 経済的自由（財産権保障の構造他）</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 1 回 社会権（自由権とはどう違うのか？）</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 2 回 統治総論</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 3 回 国会および内閣</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 4 回 裁判所</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：120分</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 5 回 平和主義、総まとめ</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：120分</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
	<p>第 1 6 回 定期試験 定期試験 学習に必要な時間：360分</p> <p>※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】</p>
テキスト	『スタート憲法入門第2版補訂版』吉田仁美[編]（成文堂）
参考書	講義にて紹介

評価方法	<p>中間・期末試験の結果、授業への参加度、授業態度などから総合的に評価する。 定期試験：80% 授業態度と受講者の発表：20%</p> <p>※遠隔授業の場合：定期試験をレポートに変更して実施することもある。詳細は講義内で説明。 ※遠隔授業の場合、評価方法を変更することがある。詳細は講義内で説明。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【D P 1～4との関連】</p> <p>【 】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<p>受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。毎回授業のため、予習・復習してください。 ※遠隔授業の場合、Google Classroom等で提示する資料や課題を必ず確認すること。ZOOMにて授業を実施する回は、授業開始時間にはスマートフォンやPCで参加できるよう準備すること。 ただし、スマートフォンの音質や機能の制限があるため、PCで参加する方がお勧めです。</p>
オフィスアワー	<p>(仮) 毎週**曜日 **限目 Ulvog研究室 ※遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談を行う。 面談の設定については、メールで連絡 (ulvog628@oc.jc.ac.jp 又は adavid.ocu@gmail.com)</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>試験やクイズの後、講義にてフィードバックする。</p>

講義科目名称： 体育一般

授業コード： 5219A

英文科目名称： ・

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～3年	2単位(1-1)	大学共通科目
担当教員			
音野 太志			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：SSS275		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 現代社会に生きる人々や自分自身の「からだの内面（こころ）」について認識し、よりよいライフスタイルを構築できる知識と態度を養うこと。 また、生活の質を高める1つの取り組みとして、スポーツの重要性や楽しみ方、心身への効果を実践を通して身に付ける事。</p> <p>【到達目標】 「健康に生きるとはどのようなことか」を理解できる。 「運動」の大切さと楽しさを理解できる。 「健康」に注意を向け、より良いライフスタイルを送るための選択ができる。 基本的な救急法や応急手当に関する知識や技術を習得する。</p>		
授業の概要	<p>授業は、アクティブラーニングの手法を用いて進めていく。 前半は、グループ毎にテーマを決め、現代の健康問題に関し調査し、模擬授業として発表を行い、各テーマに対しての学びを深める。 また、基本的な救急法や応急手当など、体育の中で必要な基礎知識や技術の習得を目指す。 後半は、健康問題解決へ向けた取り組みとして、皆で楽しめる健康運動やスポーツの内容をグループ毎に考えてもらい、講義の中で実践し、その効果について検証を行う。また、生涯スポーツの体験も行う。</p> <p>遠隔講義を行う場合はTeamsを使用致します。</p>		
授業計画	第1回	<p>コースオリエンテーション：健康とは？ 「健康」とは何か？「健康である」とはどういう状態か？ 上記の内容について、講義を行い自分自身が目指す「健康」について考える。 また、自分たちの周りにどのような問題が存在するのかを調べる。</p>	
	第2回	<p>【事前学習】健康について考えてくる（2時間） 【事後学習】グループワークの内容に関する調査（2時間） テーマの決定：グループワーク 事前学習で調べてきた様々な健康問題を、カテゴリ別に分け、自分が興味のあるカテゴリを選ぶ。 選んだカテゴリが同じメンバーの中から数人のグループを作り、グループ毎に最終的なテーマの決定と、調査する内容の方向性について話し合う。</p>	
	第3回	<p>【事前学習】 グループワークのテーマに関して調査する（2時間） 【事後学習】 決定したテーマに関する情報を集める（2時間） グループワーク①：テーマに関する調査 選んだテーマの内容に関して、スマホ、インターネット、書物等を用いて調査を行い、グループ内で発表する内容についてのディスカッションを行う。 発表する内容の大枠を決定し、さらに深く調査するための役割（パート）を決める。</p>	
	第4回	<p>【事前学習】 テーマに沿った内容に注意を向ける（2時間） 【事後学習】 資料作成に向けた準備（2時間） グループワーク②：資料の作成 グループが選んだテーマ、個人のパートを元に必要な情報を収集し、発表に必要な資料を作成する。</p>	
	第5回	<p>【事前学習】 資料作成に必要な情報の収集（2時間） 【事後学習】 情報の収集と、自分の役割について考える（2時間） 各グループによる発表 グループ毎に、調査してきた内容に関しての発表（模擬講義形式）を行う。各人に評価シートを配布し、発表内容に関して分かりやすさや質問への対応、正確な情報であるかどうか、他にも数項目に関して評価を実施する。</p>	
	第6回	<p>【事前学習】 発表の準備（2時間） 【事後学習】 各グループの発表に関して復習する（2時間） 各グループによる発表・発表に対する総評 前回に引き続き、グループの発表を実施する。 発表毎に、それぞれのテーマに関する補足説明を行い、全てのグループ発表の終了後に、総評</p>	

	と、いくつかのテーマに関してより深く説明を実施する。
第7回	<p>【事前学習】 発表の準備（2時間）</p> <p>【事後学習】 発表した内容に関する振り返り（2時間）</p> <p>コミュニケーショントレーニング ノンバーバルコミュニケーション、1way、2wayコミュニケーション、その他にも様々なコミュニケーショントレーニングを行い、その大切さを知る。 同時に、現在自分たちがどのようなコミュニケーションを取っているのか？その結果どのような事が起きているか？等、今までの自分自身の対人関係やコミュニケーションの取り方について振り返りを行う。</p>
第8回	<p>【事前学習】 どのようなコミュニケーション方法があるか調べてくる（2時間）</p> <p>【事後学習】 講義で行なった内容から、自身のことについての振り返りを行う。（2時間）</p> <p>実技：応急手当 応急手当の基本を学ぶとともに、身の回りにあるものを活用した応急手当の方法を学ぶ。 また、沖縄の海に生息する注意すべき生き物を知り、もしもの時の対処方法を学ぶ。</p>
第9回	<p>【事前学習】 応急手当について調べてくる 沖縄の海に生息する注意すべき生き物について調べてくる。（2時間）</p> <p>【事後学習】 身の回りにあるものが、どのような応急手当に活用できるか振り返る。（2時間）</p> <p>実技：救急法 救急法の基礎を学び、有事の時の対処方法を身につける。 感染症拡大防止の観点から実施する救急法を学ぶ。 乳児に対する救急法の体験を行う。</p>
第10回	<p>【事前学習】 救急法について調べてくる（2時間）</p> <p>【事後学習】 講義で学んだ内容を振り返り、知識や技術をしっかりと身につける（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：ドッジビー（ガッツ） 生涯スポーツ体験として、ドッジビーを使用したいくつかの種目を体験する。 また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。</p>
第11回	<p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：ドッジビー（アルティメット） 生涯スポーツ体験として、ドッジビーを使用したアルティメットの体験をする。 また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。</p>
第12回	<p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：ドッジビー（アルティメット：チーム対抗リーグ戦） アルティメットのリーグ戦を行う。 チームで協力してプレーする楽しさを知る。</p>
第13回	<p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：インディアカ 2種目目の生涯スポーツ体験として、インディアカの体験をする。 実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。</p>
第14回	<p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：インディアカ（練習ゲーム） インディアカのゲームを体験する。 どのように仲間と協力すれば勝利に繋がるか、ゲームの中で互いに全力を出すことの大切さを感じる。</p>
第15回	<p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>ニューススポーツ体験：インディアカ（チーム対抗リーグ戦） インディアカのリーグ戦を行う。</p>

	<p>チームで協力してプレーする楽しさを知る。</p> <p>【事前学習】 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ（2時間）</p> <p>【事後学習】 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える（2時間）</p> <p>総括（テスト） 講義のまとめとしての試験を行う。</p> <p>【事前学習】 テスト対策</p> <p>【事後学習】 授業全体の振り返り</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 【○】</p> <p>3) ICTの活用 【○】</p> <p>4) 初年次教育 【 】</p> <p>5) 実践的PBL 【 】</p>
テキスト	特になし
参考書	九州大学健康研究センター編『健康と運動の科学』 大修館書店他
評価方法	<p>対面授業においては以下の通り 授業への参加度（50%）、グループ発表に対する相互評価（30%）、技能評価（10%）、レポート（10%）にて評価を行う。</p> <p>遠隔に関しては、講義ごとに課題を課し、課題達成（動画の視聴や、資料の熟読等）によって出席とする。また、レポート等を課した場合は、レポート内容によっても評価を行い、レポート提出によって出席とする場合もある。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) — ：試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>【 】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>【○】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<p>・事前学習と事後学習を行い、準備をして講義に参加すること。</p> <p>・体育館で運動を行う場合は、運動に適した服装で参加すること。体育館シューズの必須。</p>
オフィスアワー	<p>・授業終了後に質問を受け付けます。</p> <p>・otono.ocjc@gmail.comで質問を受け付けることも可能です。</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>・授業内で解答、フィードバックを行います。</p>

講義科目名称： 中国語Ⅰ

授業コード： 4054A

英文科目名称： ChineseⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA110	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級中国語の習得。</p> <p>【到達目標】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を修得する。また、基本的な文法事項を理解（36個の文型）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができるレベルを目標とする。</p>		
授業の概要	<p>中国語のピン音（発音記号）の概要を説明するとともに、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、会話練習、作文練習を行う。</p> <p>予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。 復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。</p>		
授業計画	第1回	<p>授業概要の説明。中国語の発音（1）。 授業の進め方、評価の基準についての説明。中国語の子音・母音の発音の仕方。 【事前学習】中国と中国語について調べてみる。（60分） 【事後学習】CDを聞きながら、発音練習を多く行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第2回	<p>中国語の発音（2）。中国語の声調（1）。 有気音と無気音の発音の仕方。巻舌音の発音の仕方等。中国語の声調のコントロールについての説明。 【事前学習】中国語の発音・声調についての説明を精読し理解する。（60分） 【事後学習】CDを聞きながら、発音・声調コントロールの練習を多く行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第3回	<p>第1課：中国語の声調（2）。形容詞述語文（1）。疑問文。 中国語の声調コントロールの練習。いろいろな形容詞述語文。“？”を用いた疑問文。 【事前学習】第1課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第4回	<p>第2課：形容詞述語文（2）。基数。 いろいろな形容詞述語文。数字の数え方（1～10）。第2課の会話。 【事前学習】第2課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1～2課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第5回	<p>第2課：練習。 入れ替え練習。数字の数え方（1～31）。日付表現の練習。 【事前学習】第2課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～2課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第6回	<p>第3課：肯定文と否定文。 肯定文と否定文の作り方。“？”を用いた疑問文。第3課の会話。 【事前学習】第3課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1～3課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	
	第7回	<p>第3課：練習。 入れ替え練習。月・年の言い方。 【事前学習】第3課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～3課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>	

	<p>第 8 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 4 課：自己紹介の仕方など。動詞「是」。 自己紹介の仕方、相手の名前の読み方。動詞「是」の使い方。第4課の会話。 【事前学習】第4課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～4課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 9 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 4 課：練習。 入れ替え練習。国籍の言い方。 【事前学習】第4課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～4課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 0 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 5 課：疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」。中間試験。 いろいろな疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」の使い方。第5課の会話。中間試験。 【事前学習】第5課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～5課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 1 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 5 課：中間試験解説。練習。 中間試験解説。入れ替え練習。「ちょっと～します。」「あなたはどこへ行きますか?」。 【事前学習】第5課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。第1～5課の復習。(60分以上) 【事後学習】第1～5課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 2 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 6 課：名詞述語文。時間副詞。誘い方。 いろいろな名詞述語文。「夜あなたは何をしますか?」。「～するのはどうですか?」。第6課の会話。 【事前学習】第6課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～6課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 3 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 6 課：練習。 入れ替え練習。「明日は何曜日ですか?」「午後彼の家に彼に会いに行きます。」。 【事前学習】第6課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～6課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 4 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 7 課：「動詞＋目的語」構造。「動詞＋介詞＋目的語」構造。文末の「了」。 「動詞＋目的語」「動詞＋介詞＋目的語」構造の用いられ方。語気助詞「了」の文法的意味。第7課の会話。 【事前学習】第7課の文法事項をしっかりと理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～7課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。(180分)</p> <p>第 1 5 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 第 7 課：練習。 入れ替え練習。「(どこどこ)で(何々を)します。」「あなたは(兄弟姉妹)がいますか?」 【事前学習】第7課の文法事項をしっかりと理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～7課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。第1～7課の総復習(180分以上)</p> <p>第 1 6 回</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。 期末試験。 【事前学習】第1～7課の文法事項をしっかりと理解し、しっかりと復習する。(60分以上)</p> <p>※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて同時双方向型授業を実施する。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { } 2) 情報リテラシーに関する科目 { } 3) ICTの活用 { } 4) 初年次教育 { }

	5) 実践的PBL	【 】
テキスト	『漢語会話301句』康玉華、来思平，北京言語大学出版社。	
参考書	中日辞典など。	
評価方法	中間試験・期末試験70%。授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。	
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足</p> <p>※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。</p>	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【D P 1～4との関連】</p> <p>【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>	
履修上の注意	<p>相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。</p> <p>※遠隔授業の場合、Google Classroom等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。</p>	
オフィスアワー	<p>分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日5限&水曜日5限 武村研究室。希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc. ac. jp）。</p> <p>※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。 希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc. ac. jp）。</p>	
課題に対するフィードバック方法	授業中逐次フィードバックします。	

講義科目名称： 中国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： ChineseⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA111	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級中国語の習得。</p> <p>【到達目標】 中国語の発音（声調コントロールを含む）の正確な発声方法を習得する。基本的な文法事項を理解（56個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と平易な日常会話ができるレベルを目標とする。</p>		
授業の概要	<p>個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習も継続しつつ、十分な時間をかけ各課を学習する。各課の学習においては、基本的な文法事項の学習に続き、その応用として、簡単な日常会話の練習と作文練習を行う。</p> <p>予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。 復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。</p>		
授業計画	第1回	<p>授業概要の説明。中国語Ⅰの復習。</p> <p>授業の進め方、評価の基準についての説明。中国語Ⅰの復習。</p> <p>【事前学習】第1～7課の復習。（60分以上） 【事後学習】第1～7課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第2回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第8課：疑問詞を用いた疑問文。時間副詞。 「今何時ですか?」「あなたは何時に～しますか?」。第8課の会話。 【事前学習】第8課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第3回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第8課：練習。 入れ替え練習。時刻の言い方。「何時に～します。」 【事前学習】第8課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第4回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第9課：介詞「在」。連動文。 「あなたはどこに住んでいますか?」。連動文の特徴。第9課の会話。 【事前学習】第9課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1～9課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第5回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第9課：練習。 入れ替え練習。「私は（どこどこに）（～しに）行きます。」。 【事前学習】第9課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～9課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第6回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第10課：所在の尋ね方、道の尋ね方。第10課の会話。 動詞「在」の用い方。副詞「怎?」の用い方など。 【事前学習】第10課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。（60分） 【事後学習】第1～10課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分）</p>	
	第7回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第10課：練習。 入れ替え練習。「～はどこにありますか?」「～へはどう行きますか?」 【事前学習】第10課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。（60分）</p>	

	<p>【事後学習】第1～10課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第8回 第11課：能願動詞（1）。 「要」の用いられ方。第11課の会話。 【事前学習】第11課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～11課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第9回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第11課：練習。 入れ替え練習。「何が買いたいですか?」「何が飲みたいですか?」 【事前学習】第11課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～11課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第10回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第12課：能願動詞（2）。動詞の重ね型。中間試験。 「想」の用いられ方。「我看看○○」等。第12課の会話。中間試験。 【事前学習】第12課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～12課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第11回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 中間試験の解説。第12課：練習。 入れ替え練習。「私は～がしたいです。」「ちょっと試してもいいですか?」 【事前学習】第12課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～12課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第12回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第13課：動詞「給」。介詞「到」。能願動詞（3）。 「あなたに～をあげます。」「（どこどこ）まであといくつのバス停がありますか?」。第13課の会話。 【事前学習】第13課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～13課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第13回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第13課：練習。 入れ替え練習。「あなたに5元あげます。」「コーラ2杯買います。」「わたしは～ができます。」。 【事前学習】第13課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～13課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第14回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第14課：能願動詞（4）。動詞「?」。 「可以」「能」の用いられ方。頼み事をする表現。第14課の会話。 【事前学習】第14課の文法事項を理解し、会話を読んでみる。(60分) 【事後学習】第1～14課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第15回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第14課：練習。 入れ替え練習。「ここで両替できますか?」「この漢字を書いて下さい。」 【事前学習】第14課の文法事項と会話の内容を理解し、練習をやってみる。(60分) 【事後学習】第1～14課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。(180分)</p> <p>第16回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 期末試験。 第1～14課の総復習。(60分以上)</p> <p>※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて遠隔試験を実施する。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { }</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 { }</p> <p>3) ICTの活用 { }</p>

	4) 初年次教育 5) 実践的PBL
テキスト	『漢語会話301句』康玉華、来思平，北京言語大学出版社。
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Google Classroom等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日5限&水曜日5限。 武村研究室。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。 ※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。 希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： 韓国語Ⅰ

授業コード： 4056A

英文科目名称： KoreanⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
趙 恩智			
授業形態：演習 遠隔授業の可能性あり	ナンバリング：SLA114		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	テーマ：ハングルの初歩 到達目標：ハングルの読み書きの基礎を身につけ、簡単な会話ができるようにする。		
授業の概要	ハングルの基礎から、簡単な会話と読み書きの習得を目的とする。なお、実際に韓国で使われている音声に慣れる。日常会話で最もよく使われる基本的な単語を使用し、実際の例文やコンテンツを使って授業を行う。あいさつ、感情表現、自己紹介、旅行に必要な会話等で必要最低限の基礎力の習得ができる。PPT資料と、ドラマや芸能、音楽など韓国で実際に使用されるコンテンツを想定した練習を、できるだけ多くおこなって、レベルに応じた会話、読み書きができるようになる。		
授業計画	第1回	コースガイダンス、ハングルについて ガイダンス。 ハングルの仕組みと歴史について学ぶ。 【事前学習】初回につき無し 【事後学習】ハングルを理解した上、母音の読み方を練習する。【2時間】	
	第2回	＊遠隔授業の場合：Google class roomで講演資料の配付・演出を行う。 ハングルの母音について ハングルの母音の学習の復習 【事前学習】まず母音の読み方を身につけてくる。【2時間】 【事後学習】母音の読み方と書き方を完全に読み書きが出来るようになる。【2時間】	
	第3回	ハングルの子音について ハングルの子音の学習を行なう。 【事前学習】子音の読み書きを練習してくる。【2時間】 【事後学習】母音の読み方と書き方を完全に読み書きが出来るようになる。【2時間】	
	第4回	ハングルのパッチムについて ハングルの母音と子音の復習とともに、パッチムと複合母音について学ぶ。 【事前学習】前回の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】ハングルの母音、子音、パッチムについてかけるようになる。5回目の語彙を練習する。【2時間】	
	第5回	挨拶と自己紹介 自己紹介の表現やフRezについて学ぶ。 語彙：名前、職業、国籍 文法：一です、一は 【事前学習】5回目の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】6回目の語彙を練習。【2時間】	
	第6回	ものと場所（1） 日常生活に出てくるものと場所の単語を学び、一にある、一にないについて学ぶ。 語彙：もの、場所 文法：一が、一にある、ない 【事前学習】6回目の語彙を練習してくる。【2時間】 【事後学習】今回の語彙を練習して身に付く。7日目の語彙を練習してくる。【2時間】	
	第7回	日常生活 日常生活のなかの単語を学ぶ。語彙を使って現在進行形を練習する。 語彙：基本形容詞、基本動詞 文法：ます、一を 【事前学習】7日目の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】今回の資料を復習し、表現を復習する。8日目の語彙を練習する。【2時間】	
	第8回	場所（2） 「ここ、そこ、あそこ、どこ」について学ぶ。場所の単語を使って疑問形に答えるようにする。 語彙：場所 文法：一にいく、一で 【事前学習】8日目の資料を読んでくる。6日目の語彙を練習してくる。【2時間】 【事後学習】疑問形に答えるように練習する。9日目の語彙を練習する。【2時間】	
	第9回	月と曜日 数字を読めるようになる。カレンダーの読み方と約束をとる練習をしてみる。 語彙：数字、月、曜日 文法：一に、一ではありません。 【事前学習】9日目の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】数字を完全に読めるようにする。10日目の語彙を練習してくる。【2時間】	
	第10回	一日の日課 前回の数字を記憶して数字の数え方について学ぶ。約束をもっと詳しく取れるようになる。 語彙：数字、基本動詞 文法：一から一まで 【事前学習】前回の資料と今回の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】数字に関連することが完全にできるように練習する。11日目の語彙を練習してくる。【2時間】	
	第11回	「ください」「と」「したい」について 韓国旅行の中でよく使える表現を学ぶ。特に、一くださいや一したいなど自己表現ができるようにする。	

	<p>語彙：飲食、食堂関連表現、単位、価格 文法：一たい、ください、て形、します、しますか？ 【事前学習】11回目の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】自己表現ができるように表現を復習する。12回目の語彙を練習してくる。【2時間】</p> <p>第12回 週末の活動 週末の活動に関連する表現を使って過去形を学ぶ。動詞の変化を見についていく。 語彙：週末関連 文法：一た、一も 【事前学習】12回目の語彙が読めるように練習する。【2時間】 【事後学習】過去形を使えるように今までの動詞を変えて練習してみる。13回目の語彙を練習してくる。【2時間】</p> <p>第13回 家族表現 家族の名称について学ぶ。または尊敬語について練習する。 語彙：家族名称、尊敬語 文法：尊敬語 【事前学習】家族関係が読めるように13回目の資料を読んでくる。【2時間】 【事後学習】自分の家族関係を紹介できるように練習する。試験準備をする。【2時間】</p> <p>第14回 期末試験 試験によって学習の成果を試す。 （～7・21予定）</p> <p>第15回 特別な日、休暇計画 期末試験の解説をする。 韓国にある祝日について学ぶ。また休みのときに何をするかによって計画に使う表現を練習する。 最後に試験準備として、これまでの資料を全体的にまとめてみる。 【事前学習】自分によって特別な日を考えていく。【2時間】 【事後学習】休みのときに何をするか今までの表現を使って文章を作ってみる。今までの資料を復習する。試験準備をする。【2時間】</p> <p>第16回 まとめ 15回に学んだ表現を使い、休みのときに何をするか今までの表現も含め文章を作ってみる。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組【プレゼンテーションを使い授業を行う。コンテンツ資料を積極的に活用する。】
テキスト	こちらで準備する（PPT資料、添付資料など）
参考書	国立国語院『韓国語と韓国文化』2020年（韓国）
評価方法	授業態度、授業への参加度も参考にすが、基本的に期末テストの結果をもって評価する。 期末試験100% *遠隔授業の場合：基本は学内での期末試験（筆記試験）にするが、状況によって変更する。 小テスト（60%）、課題提出（40%）
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀（A）90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優（B）80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良（C）70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可（D）60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可（F）60点未満：到達目標を達成していない 欠（K）—：出席不足 *遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、詳細は講義内で説明。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>第二言語を学ぶことにより、他文化への理解度が深まりそれが「グローバル」社会の多様性と文化理解の「教養を育む」ことにもつながる。</p> <p>【D P 1～4との関連】 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【—】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<p>韓国語をはじめに学ぶときには、発音練習が最も重要になる。そのため、毎回の授業の事前には自らの発音練習が重要である。授業では実際に韓国で使っている会話を中心にしているので、多様なコンテンツを使って授業を行う。学生はコンテンツに伴い、自ら発音練習や書き方の練習をやってほしい。 *遠隔授業の場合、Google class roomで提示する資料や課題を必ず確認すること。</p>
オフィスアワー	<p>毎週講義の後に1時間オフィスアワーをもつ。 *遠隔授業の場合、メールおよびオンライン面談を行う。 面談の設定については、メールで連絡（個人メール：jej201307@gmail.com、Google class roomメッセージ）</p>
課題に対するフィードバック方法	講義の最終時間に期末テストの模擬的な問いを出してその解説を行なう。

講義科目名称： 韓国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： KoreanⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
趙 恩智			
授業形態：演習 遠隔授業の可能性あり	ナンバリング：SLA115		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 コンテンツ韓国語 【到達目標】 会話に必要な言葉や表現や文法等を学び、韓国人とのコミュニケーションができる最低限の会話力やヒアリング力を身につける。		
授業の概要	韓国語Ⅰの単位取得者、もしくはそれと同等の語学力を持つ学生を対象にする。授業では韓国語Ⅰより多数のコンテンツを中心に授業する。韓国のドラマ、映画、アニメ、番組、音楽を活用する。韓国で行われる会話場面の画面を見ながら身につける。スピーキングやヒアリングの復習練習、またはロールプレイングなど活動性を上げて韓国語を学ぶ。実際に韓国人と会える機会があれば最低会話ができるように韓国語を楽しく学んでいく。		
授業計画	第1回	コースガイダンス コースガイダンスを行う。授業の進め方と評価方法等を説明する。韓国語Ⅱの準備段階として韓国語Ⅰのまとめをする。 事前学習:なし。 事後学習:次の授業準備をする。資料を読んでくる。(2時間)	
	第2回	ドラマで学ぶ韓国語(1) 選ばれた韓国ドラマのセリフ、画面を見ながら学習。 韓国の交通手段について学ぶ。 事前学習:資料を読んでくる。(2時間) 事後学習:3回目の語彙を練習してくる。(2時間)	
	第3回	ドラマで学ぶ韓国語(2) 前回の復習と伴い、約束表現を学ぶ。 語彙:約束表現 文法:-しませんか、できません 事前学習:交通に関する単語や学んだ文法を使って話せるようにする。 事後学習:4回目の資料を読んでくる。	
	第4回	ドラマで学ぶ韓国語(3) 季節と天気に関連する表現を学ぶ。 文法:-ですね、より 事前学習:故郷の天気について調べてくる。(2時間) 事後学習:ドラマ場面から見た韓国語表現を実際に使えるように練習。(2時間)	
	第5回	映画で学ぶ韓国語(1) 選ばれた映画の場面で現れる表現を練習。病院で使う表現を学ぶ。 診察のとき使える単語や表現を練習する。 事前学習:資料を読んでいく。(2時間) 事後学習:意思表現の説明ができるように語彙を練習する。(2時間)	
	第6回	映画で学ぶ韓国語(2) 公の場でつかえる表現を学ぶ。韓国礼儀や禁止表現について見ていく。 事前学習:日本の禁止文句を調べてくる。資料を読んでくる。(2時間) 事後学習:案内文句を韓国語で話せるように練習する。禁止形を復習する。(2時間)	
	第7回	映画で学ぶ韓国語(3) 買い物をするときや電話をかける時の表現を学ぶ。 語彙:買い物用語、電話表現 文法:一と、や、できる 事前学習:電話の挨拶を調べてみる。資料を読んでくる。(2時間) 事後学習:可能形を使えるように復習する。(2時間)	
	第8回	アニメで学ぶ韓国語(1) 気分と感情に関連する語彙を学ぶ。SNS上の絵文字など見ていく。 事前学習:SNS上の絵文字など調べてみる。(2時間) 事後学習:気分を表す表現や絵文字などを使ってみる。(2時間)	
	第9回	アニメで学ぶ韓国語(2) 招待と訪問するときの語彙を身につく。お祝いのときのフレーズを見ながら学習。 文法:しませんか。だから 事前学習:資料を読んでくる。(2時間) 事後学習:勧誘形の表現を復習する。(2時間)	
	第10回	番組で学ぶ韓国語(1) 尊敬語の仕方を学ぶ。司会者と発話者の役を見ながら表現を身につく。 事前学習:資料を見てくる。(2時間) 事後学習:尊敬語の使い方を練習する。(2時間)	
	第11回	番組で学ぶ韓国語(2) 尊敬語の使い方を学ぶ。ゲームなど韓国の遊びについて学習する。 事前学習:前回は復習。資料を読んでくる。(2時間) 事後学習:動詞を尊敬語に使えるように練習する。(2時間)	

	<p>第12回 音楽で学ぶ韓国語(1) 音楽の歌詞で学ぶ韓国語。語彙と単語を音楽を通じて学習する。ヒアリングとスピーキングを同時に練習する。 事前学習：資料を見てくる。(2時間) 事後学習：学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第13回 音楽で学ぶ韓国語(2) 音楽の歌詞で学ぶ韓国語。語彙と単語を音楽を通じて学習する。ヒアリングとスピーキングを同時に練習する。 事前学習：資料を見てくる。(2時間) 事後学習：学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第14回 音楽で学ぶ韓国語(3) 音楽の歌詞で学ぶ韓国語。語彙と単語を音楽を通じて学習する。ヒアリングとスピーキングを同時に練習する。 事前学習：資料を見てくる。(2時間) 事後学習：学んだことを復習する。(2時間)</p> <p>第15回 まとめ これからの資料をまとめて整理する。わからない部分があれば説明する。</p> <p>第16回 期末テスト 学んだ表現をメースにしてテストを行う。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	こちらから準備(PPT)
参考書	アプリ：「NAVER Korean Dictionary」 「Melon」「Netflix」など
評価方法	<p>期末テストの結果を主として評価するが、授業態度や授業への参加度も参考にする。 出席率(40%) + 期末テスト(50%) + 授業態度や授業への参加度(10%)</p> <p>※遠隔授業の場合：リモート授業を実施、小課題(クイズ)提出。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してループリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀(A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優(B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良(C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可(D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可(F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠(K) —：出席不足</p> <p>※遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ループリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】 1との関連性について、同系列の他言語であるハングルを学ぶことによって「自己と他者を尊重し」、日・韓・朝鮮の間で積極的に「相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができる」 3については「言語的な批判的精神」を養って「グローバル化する社会の課題に向き合える」 4については、英語圏以外の国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p> <p>【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<p>とりあえず話してみることが大事なので、恥ずかしくても口に出す練習をしてください。 リモート授業になる場合は、Gooleclass roomで行う。</p>
オフィスアワー	メール, Gooleclassroom chart等で対応できる。(jej201307@gmail.com)
課題に対するフィードバック方法	最終講義において解答と解説を行なう。

講義科目名称： スペイン語Ⅰ

授業コード： 4058A

英文科目名称： SpanishⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA118	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級スペイン語の習得。</p> <p>【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際に使えるようになる。</p>		
授業の概要	<p>スペイン語の文字・発音についての概要を説明するとともに、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。また、挨拶、数の数え方、日時、曜日の言い方等、日常会話で頻出する平易な表現を練習する。</p> <p>予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと</p>		
授業計画	第1回	<p>授業の概要説明、第1課：スペイン語の発音と表記法（1）。</p> <p>授業の進め方、評価の基準等についての説明。 スペイン語を公用語とする国々についての紹介。スペイン語の子音、母音の音声学的特徴、並びに表記法についての説明。 【事前学習】スペイン語を公用語とする国々について調べる。（60分） 【事後学習】CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第2回	<p>第1課：スペイン語の発音と表記法（2）について。 注意を要する発音（子音&母音）について、練習を交えながら、具体的な発音方法を説明。スペイン語の表記法に関する説明。簡単な挨拶と基数（1～10）の練習。 【事前学習】第1課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第3回	<p>第2課：名詞の性・数と定冠詞・不定冠詞（1）。</p> <p>男性名詞、女性名詞の別。複数形。それら名詞の定冠詞・不定冠詞との結びつき方。 【事前学習】第2課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～2課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第4回	<p>第2課：名詞の性・数と定冠詞・不定冠詞（2）。</p> <p>名詞の定冠詞・不定冠詞との結びつき方。hayを用いた表現。第2課Di&#225;logo。 【事前学習】第2課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～2課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第5回	<p>第3課：人称代名詞。ser動詞、estar動詞。 10種の主格人称代名詞。ser動詞とestar動詞の直説法現在。 【事前学習】第3課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～3課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第6回	<p>第3課：人称代名詞。ser動詞、estar動詞（2）。</p> <p>ser動詞とestar動詞を用いた疑問文と否定文。国籍を表す語。第3課Di&#225;logo 【事前学習】第3課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～3課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p>	
	第7回	<p>第4課：規則活用動詞（-ar動詞、-er動詞、-ir動詞）（1）。</p> <p>標記3種の規則動詞の活用変化（直説法現在）。その練習（習得方法）。 【事前学習】第4課の文法事項に目を通しておく。（60分）</p>	

	<p>【事後学習】第1～4課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第8回 第4課：規則活用動詞（-ar動詞、-er動詞、-ir動詞）（2）。 標記3種の動詞の活用変化の練習。指示形容詞。指示代名詞。第4課Di&#225;logo. 【事前学習】第4課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～4課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第9回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第5課：不規則動詞（1）、形容詞。 1人称が-goで終わる動詞の直説法現在。形容詞の性・数。 【事前学習】第5課の文法事項に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～5課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第10回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第5課：不規則動詞（2）、中間試験。 1人称が-goで終わる動詞の活用練習。形容詞の用いられ方。第5課Di&#225;logo. 中間テスト。 【事前学習】第5課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。 第1～5課の復習をしっかりと行う。(60分以上) 【事後学習】第1～5課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第11回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第6課：中間試験解説。一般不規則動詞（1）、所有形容詞。 中間試験解説。一般不規則動詞の直説法現在。6種の所有形容詞前置形と男性形・複数形。 【事前学習】第6課の文法事項に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習、語句の書き取り練習を行う。中間テストの復習。(180分)</p> <p>第12回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第6課：一般不規則動詞（2）、前置詞a、基数。 不規則動詞の活用練習、前置詞aの用いられ方。数字の数え方（11～20）。第6課Di&#225;logo. 【事前学習】第6課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第13回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第7課：1人称単数形だけが不規則活用する動詞。目的格人称代名詞（1） conocer等動詞の活用と練習。直接目的格及び間接目的格人称代名詞（14種）。 【事前学習】第7課の文法事項に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第14回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第7課：その他不規則動詞、目的格人称代名詞の用いられ方（2）。 dar等動詞の活用と練習。直接目的格及び間接目的格人称代名詞の用いられ方。第7課Di&#225;logo. 【事前学習】第7課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。(60分) 【事後学習】第1～7課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)</p> <p>第15回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>総復習。 スペイン語の発音・表記法、第1課～第7課の復習。練習問題等。 【事前学習】第1～7課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。(60分以上) 【事後学習】第1～7課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分以上)</p> <p>第16回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>期末試験。 【事前学習】第1～7課の総復習</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて遠隔試験を実施する。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【 】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】</p>
テキスト	『基礎から学ぼう！スペイン語 初級』西川喬，朝日出版社。
参考書	西和辞典など。
評価方法	<p>中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。</p> <p>※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。</p>
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足</p> <p>※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<p>相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。</p> <p>※遠隔授業の場合、Google Classroom等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。</p>
オフィスアワー	<p>分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日5限&水曜日5限。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。</p> <p>※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。</p>
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックいたします。

講義科目名称： スペイン語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Spanish Ⅱ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目（第二外国語）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA119	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級スペイン語の習得。</p> <p>【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しむ。また、基本的な文法を理解・習得し、平易な会話を多く習得する。それらを実際使って見て、その感覚を蓄積する。</p>		
授業の概要	<p>スペイン語Ⅰの復習を行いつつ、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて平易な会話ができる基盤を強固なものにしてゆく。その上で、平易な日常会話ができるよう練習を行う。</p> <p>予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと。</p>		
授業計画	第1回	<p>授業概要の説明。スペイン語Ⅰの復習。 授業の進め方、評価の基準についての説明。スペイン語Ⅰの復習。 【事前学習】スペイン語Ⅰの復習。（60分以上） 【事後学習】CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第2回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第8課：語幹母音変化動詞（1）。 語幹母音変化動詞直接法現在の活用。 【事前学習】第8課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第3回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第8課：語幹母音変化動詞（2）。接続詞que。所有形容詞。 語幹母音変化動詞直接法現在の用いられ方。従属接続詞queと所有形容詞後置形。第8課Dialogo。 【事前学習】第8課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第4回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第9課：再起動詞と再起代名詞（1）。 再起動詞の活用と再起代名詞との組み合わせ。再起代名詞seを用いた受け身表現。 【事前学習】第9課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～9課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第5回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第9課：再起動詞と再起代名詞（2）。基数。 再起代名詞seを用いた受身表現。基数（21～100）。第9課Dialogo。 【事前学習】第9課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～9課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第6回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第10課：過去分詞と現在完了形（1）。 過去分詞の作り方。現在完了形の作り方。 【事前学習】第10課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～10課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	
	第7回	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第10課：過去分詞と現在完了形（2）。時刻の表現。 現在完了形の用いられ方。時刻表現の用いられ方。第10課Dialogo。 【事前学習】第10課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～10課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p>	

	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第 8 回 第 1 1 課：直説法点過去（1） 規則動詞の直説法点過去の活用形。 【事前学習】第11課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～11課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 9 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 1 課：直説法点過去（2）。無人称表現。日付。 規則動詞の直説法点過去を用いた表現。主語不定の無人称表現。日付を用いた表現。第 1 1 課 Dialogo。 【事前学習】第11課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～11課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 0 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 2 課：不規則動詞の直説法点過去（1）。中間試験。 不規則動詞の直説法点過去の活用形。 【事前学習】第12課の文法事項に目を通しておく。 また、第1～12課の復習をしっかりと行う。（60分以上） 【事後学習】第1～12課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 1 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 中間試験解説。第 1 2 課：不規則動詞の直説法点過去（2）。 中間試験解説。いろいろな不規則動詞の直説法点過去。動詞gustarを用いた表現。第 1 2 課 Dialogo。 【事前学習】第12課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～12課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。中間テストの復習。（180分）</p> <p>第 1 2 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 3 課：規則動詞の直説法線過去（1）。 不規則動詞の直説法線過去の活用形。 【事前学習】第13課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～13課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 3 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 3 課：規則動詞の直説法線過去（2）。曜日の表現。現在分詞。 いろいろな不規則動詞の直説法線過去。曜日用減の用いられ方。現在進行形の作り方。第 1 3 課 Dialogo。 【事前学習】第13課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～13課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 4 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 4 課：形容詞・副詞の比較級（1）。 優等比較級、劣等比較級、同等比較級。 【事前学習】第14課の文法事項に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～14課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 5 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 1 4 課：形容詞・副詞の比較級（2）。副詞。 形容詞の比較級（不規則形）。副詞の不規則形、-menteの副詞、所有代名詞。第 1 4 課 Dialogo。 【事前学習】第14課の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】第1～14課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）</p> <p>第 1 6 回 ※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて遠隔試験を実施する。 期末試験。 【事前学習】第1～14課の総復習（60分以上）</p> <p>※遠隔授業の場合：期末試験についての説明をGoogle Classroomに掲載する。 ※遠隔授業の場合：ZOOMにて期末試験を実施する。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { } 2) 情報リテラシーに関する科目 { } 3) ICTの活用 { }

	4) 初年次教育 5) 実践的PBL
テキスト	『基礎から学ぼう！スペイン語 初級』西川喬著，朝日出版社。
参考書	西和辞典など
評価方法	中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Google Classroom等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に開きに来て下さい。 月曜日5限&水曜日5限。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp） ※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： コンピュータ演習

授業コード： 5208A

英文科目名称： Basic Computing

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1年次	2単位(0-2)	大学共通科目 (情報コミュニケーション)
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：CMS170	遠隔授業の可能性あり	
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 大学生活また社会人として仕事をする上で必要とされる、PCの基本的操作技能、並びに情報リテラシーの習得。</p> <p>【到達目標】 ①認知的領域：大学生活または社会人として仕事をする上で必要とされるPCの基本的操作ができるようになる。PCの基本的な各種設定ができる。 ②技術表現的領域：ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の加工・分析ができる。 ③情意的領域：パワーポイントの効果的な使い方を習得し、人前で自信をもってプレゼンできる態度を身につける。</p>		
授業の概要	PCの基本的な各種設定の方法を学ぶとともに、ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の加工・分析の方法、パワーポイントの効果的な使い方等を、実践的に習得する。また、基礎的なデータベースの活用方法など情報リテラシーを身につける。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション及びWord2016の基本操作（1） 授業の進め方、評価法についての説明。ローマ字入力。ブラインドタッチの練習。 【事前学習】ローマ字入力について理解し、入念に入力練習を行う。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第2回 Word2016の基本操作（2） ローマ字入力。ブラインドタッチの練習。 単純な文書の作成。</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第3回 Word2016の基本操作（3） ブラインドタッチの練習。文書のレイアウト他、編集技法。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第4回 Word2016の基本操作（4） ブラインドタッチの練習。図形を用いた簡単な模式図の描き方。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第5回 Word2016の上手な操作法（1） ブラインドタッチの練習。数種の図形を用いた様々な模式図の描き方。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第6回 Word2016の上手な操作法（2） SmartArtの活用法。画像、グラフの挿入。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第7回 Excel2016の基本操作（1） 単純な表の作成。セルの結合、文字列の配列等。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p> <p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第8回 Excel2016の基本操作（2） 複雑な表の作成。表のレイアウト、編集など。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分）</p>		

	<p>※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。</p> <p>第 9 回 Excel2016の基本操作 (3) 表計算。単純なグラフの作成。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 0 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 Excel2016の上手な使い方 (1) 関数入力。Excel2016の便利な使い方。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 1 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 Excel2016の上手な使い方 (2) 複雑なグラフの作成。相対参照、絶対参照。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 2 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 Excel2016の上手な使い方 (3) 生データの加工。グラフ描画のための表作成。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 3 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 PowerPointの基本操作 (1) 簡単なプレゼンテーション資料の作成。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 4 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 PowerPointの基本操作 (2) 表、グラフ、画像、動画の挿入方法等。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分)</p> <p>第 1 5 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 PowerPointの上手な使い方 PCを利用する上で必要な情報倫理について学ぶ。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第 1 6 回 ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 なし。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/> 2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/> 3) ICTの活用 <input type="checkbox"/> 4) 初年次教育 <input type="checkbox"/> 5) 実践的PBL <input type="checkbox"/>
テキスト	特になし。
参考書	『大学生のための レポート・卒論で困らない ワード／パワポ／エクセルのコツ』、『できるWord & Excel 2019』など。
評価方法	課題の提出70% 授業への参加度30%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【 <input type="checkbox"/> 】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 <input type="checkbox"/> 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【 <input type="checkbox"/> 】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること

	【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	<p>USBメモリーを準備すること。</p> <p>※遠隔授業の場合、Google Classroom等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日5限&水曜日5限。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc.ac.jp）。</p> <p>※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc.ac.jp）。</p>
課題に対する フィードバック方法	課題は評価後に希望に応じて返却します。